

別紙詳細仕様書【放射線内用療法（ルタテラ治療用）機器】	
仕様内容	
1	RI内用療法で使用する放射性医薬品（ルタテラ）の放射能を測定するキュリーメーターは、以下の要件を満たすこと。
1-1	検出方式はアルゴンガスを使用し、このガスを封入した井戸型の電離箱であること。
1-2	測定可能な線種は、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	30keV以上の γ （X）線を測定できること。
1-2-2	ポジトロン核種を測定できること。
1-3	測定単位、測定単位、バックグラウンド減算、測定精度、再現性について以下の要件を満たすこと。
1-3-1	Bq（ベクレル）またはCi（キュリー）の切換できること。
1-3-2	99mTcにおいて、0.01MBqから約100GBq（0.1 μ Ciから約3Ci）、18Fにおいて0.01MBqから約22GBq（0.1 μ Ciから約0.6Ci）で測定可能できること。
1-3-3	バックグラウンドをあらかじめ測定しておく、それ以後の測定は自動的にそのバックグラウンド値を減算し、NET値を表示できること。
1-3-4	99mTcにおいて、測定精度 $\pm 5\%$ 、約19MBq以上を有すること。
1-3-5	99mTcにおいて、再現性 $\pm 1\%$ 、約19MBq以上を有すること。
1-4	その他以下の要件を満たすこと。
1-4-1	測定した放射能をモニタ上に表示できること。また、モニタはタッチパネル型であり入力機能を有すること。
1-4-2	測定した放射能を印字できること。
2	放射線防護に必要な物品は、以下の要件を満たすこと。
2-1	放射線防護衝立は、木製の一面作りで鉛厚2.0mm以上を有し、横900mm以上、縦1,850mm以上の大きさのものが3台あること。
2-2	蓄尿用放射線遮蔽体は、鉛厚3mm以上を有し、移動可能なキャスターが付いていること。また、2.5リットル入りのプラスチック蓄尿容器が4本以上入る構造を有すること。
3	その他・支援体制等
3-1	本件の項番1の機器が正常に作動するように、納入後1年間は無償で点検調整、障害阻止を実施すること。
3-2	日本語の操作マニュアルを備えること。
3-3	本件の項番1の装置導入後、装置取扱いについて当センターの担当者に教育訓練を行うこと。